

議会だより

産山



第13号 令和3年5月発行

- 第5回（3月）定例会議 P 2～5
- 第2・3・4・6回臨時会議 P 6～7
- 一般質問 P 8～11
- 編集後記ほか P12



写真のオキナグサは、本村原野で4月頃、撮影したものです。

オキナグサ（翁草）

キンポウゲ科オキナグサ属の多年草

名の由来は、花が終わると果実が球状に集まり、白い毛でおおわれる姿を老人の白髪に見立てたことから。本州、四国、九州に分布する全草有毒植物。かつては、草原に普通に見られたが、草刈りなどの維持管理がされなくなり荒廃したことや開発が進んだこと、盗掘などにより激減している。写真左下のキバナオキナグサは、かつて村内的一部で見られましたが現在では、ほとんど見ることが出来なくなりました。

令和3年3月定例会

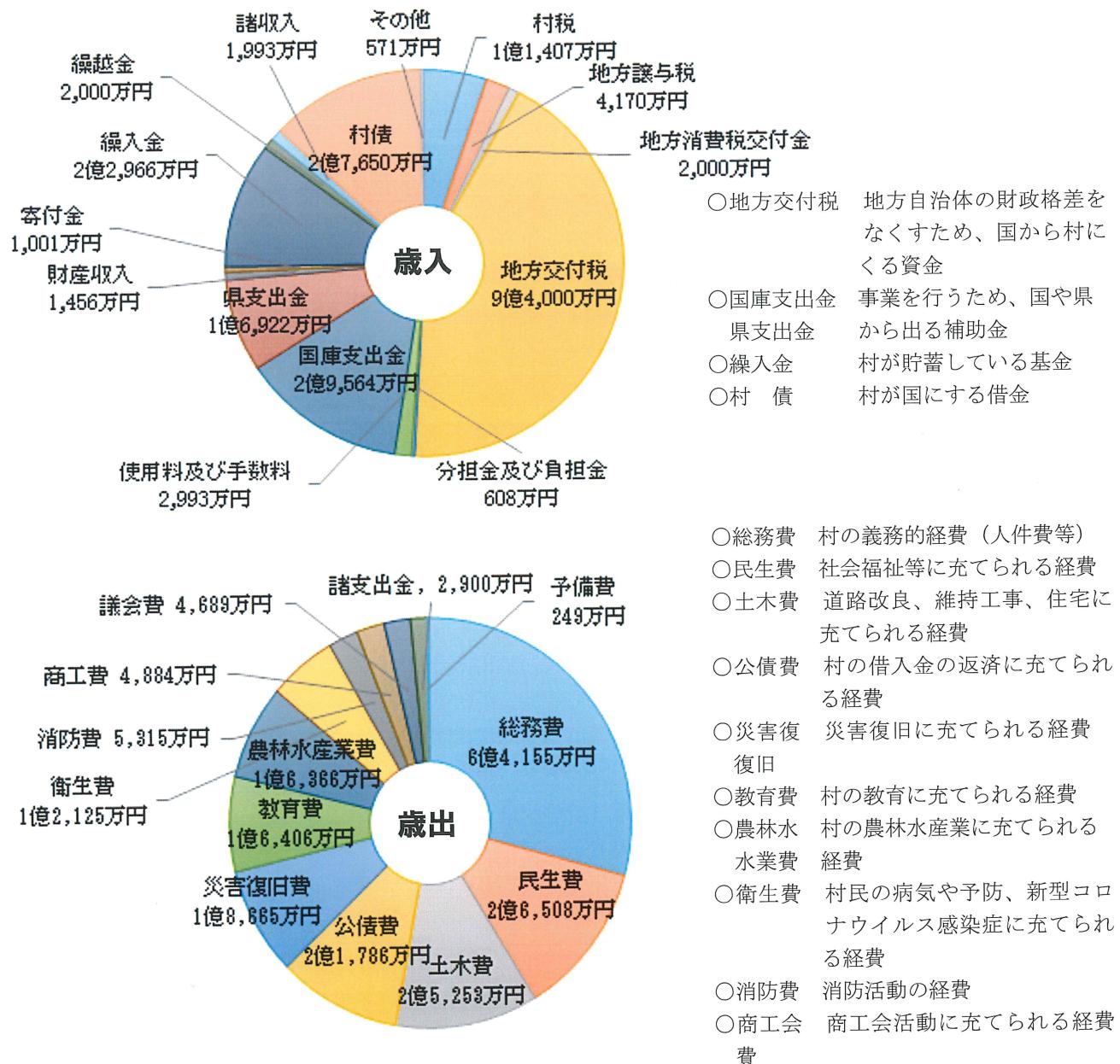
令和3年第5回定例会が3月9日から18日まで開催され、村からの上程議案21議案、議会からの上程議案1議案が審議され、一部事件訂正がありましたが全会一致で可決されました。

事件訂正内容：村から提案された令和3年度一般会計予算総額は、24億100万円で対前年比10%増と大幅に膨らんでいた。その中で財政調整基金の繰入や地方債の借入等多額になっており、議員から財政不安の意見が相次いだ。これに対し村長が見直し（訂正）を行い21億9,301万円に事件訂正を行った。

令和3年度一般会計予算

21億9,301万円

令和3年度の一般会計予算総額は、前年度当初予算と比較して、6.7%増の21億9,301万円で可決されました。



令和3年度各会計予算

会計名	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	2,193,010千円	2,056,000千円	137,010千円 増	6.7% 増
国民健康保険特別会計	229,079千円	225,900千円	3,179千円 増	1.4% 増
後期高齢者医療特別会計	26,853千円	25,800千円	1,053千円 増	0.2% 増
簡易水道事業特別会計	30,743千円	27,400千円	3,343千円 増	12.2% 増
診療所特別会計	62,248千円	67,300千円	5,052千円 減	8.1% 減
介護保険特別会計	268,700千円	266,600千円	2,100千円 増	0.8% 増
風力発電事業特別会計	7,550千円	11,000千円	3,450千円 減	45.7% 減

令和2年度各会計補正予算

項目	増 減	総 額	主な内訳
一般会計	26,176千円 減	2,813,384千円	主な補正は、各種事業確定による増減
国民健康保険特別会計	1,513千円 減	232,940千円	出産育児一時金確定に伴う減額
診療所特別会計	3,801千円 減	63,262千円	新型コロナウイルス感染症に伴い医療受診者数減少に伴う減額
介護保険特別会計	4,336千円 増	297,644千円	国庫支出増額に伴う増額

その他の議案

- 産山村在宅寝たきり老人等介護者手当支給条例の一部を改正する条例について
- 産山村介護保険条例の一部を改正する条例について
- 産山村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について
- 産山村簡易水道の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 産山村ほうれんそう学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 産山村農村公園設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- 産山村固定資産評価審査委員会委員の選任同意を求める件について
- 産山村議会規則の一部を改正する議会規則について
- 産山村教育委員会教育長の任命同意を求める件について

*産山村教育長の任命同意について3月18日に全会一致で同意されました。

星山教育長から再任の挨拶

この度、教育長の任命を頂いた星山です。村民の皆様の負担に応えるべく精一杯、精進いたします。よろしくお願いします。現代の教育的課題である人口減少社会における教育の在り方とソサエティー5.0時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成を追及して参ります。産山ならではの教育で「産山で教育を受けて良かった、受けさせて良かった」と実感できる教育の創造を皆さんとともに目指していきたいと思います。



星山教育長

3月定例会（主な議決事項）

新型コロナワクチン接種

17, 582千円



新型コロナウイルス感染症の対策として、ワクチン接種を行うため、接種費用及び体制構築の委託を行います。（全額国補助）

小さな拠点整備事業

122, 780千円



旧JA跡地を解体し、村のコミュニティバスの待合所を兼ねた多目的交流施設（店舗や社会福祉協議会）を整備するものです。（地方創生交付金 国50%）

稼げるむらづくり推進事業

9, 500千円



村の人口減少対策として、昨年につづき、起業・モノづくり塾の実施や試作品開発を行います。
(地方創生補助金 国50%)

片俣団地建設事業

30, 200千円



南部ゲートボール場横の農村公園に新規に1戸の住宅を建設し、片俣団地が12戸なる予定です。
(社会資本整備交付金 国45%)

定住促進団地整備事業

114, 300千円



村で、単身で働く住民のために単身住宅1棟（10戸）の建設を行います。（過疎債8, 570万円）

公共土木災害復旧事業

156, 795千円



令和2年度に被災した道路及び河川の災害復旧を行うものです。（国庫補助率 91.6%）

補正予算から

当初予算から

3月定例会質疑応答

【問】 井 芳美 議員

観光施設トイレ整備費を減額しているが池山水源トイレは、整備しているのか。

【答】 企画振興課長

池山水源トイレは、発注済みで3月中旬に完了する。

【問】 井 芳美 議員

今後JA跡地に小さな拠点整備が実施されハブとしてコミュニティーバスの利用促進が期待できるが現在のバス利用率を伺う。

【答】 企画振興課長

1月末時点で延べ2351人の利用で1日当たり11・7人となつてある。

【問】 西村 直樹 議員

農業振興推進事業で機械導入やハウス整備が進められているが、同一人が複数回申請したり、ハウスを村外に移転している状況がある。問題ないか伺う。

【答】 経済建設課長

同一人の申請は、組織する複数の団体の構成員として重複しているもので問題ない。

また、ハウスの移転については家庭の事情であり、補助要綱上問題はないと考える。

【問】 井 春夫 議員

稼げる村づくり推進事業費600万円が計上されているその内容を伺う。

【答】 村 長

一般社団法人を設立し、ふるさと納税商品開発、観光事業等の事業運営を行う予定。なお、重要な案件であるので、今後設立準備委員会を設立し、内容を十分に議会と協議しながら行う。

【問】 城本 俊成 議員

外出支援事業について、令和元年から約1・8倍、令和2年から令和3年で1・5倍と大きな伸びを示している。大変良い事業ではあるが今後も伸びると思うが利用の仕方を今後考えなくてよいか伺う。

【答】 村 長

交通弱者のための政策であるが高齢者や免許返納者が増えれば今後も多くなる。コミュニティーバスも含めて公共交通の在り方について、検討していく。

【問】 渡辺 裕文 議員

侵入竹林等雑木伐採委託料105万円が計上されている。内容を伺う。

【答】 企画振興課長

御湯船温泉の泉源である揚湯管は径が小さいので水中ポンプを入れており、約1年半程度で不具合となり故障した場合のポンプ入れの予算である。

森林環境譲与税を活用し、村外森林所有者の調査を行い、村に山林管理を任せたい方について、本年は、山鹿地区山林内の竹林伐採を行う。

【問】 井 芳美 議員

着地型旅行商品造成事業補助金が300万円計上されている。内容を伺う。

【答】 企画振興課長

小国町、南小国町と協力し、九州観光機構とタイアップし、九州旅ネット等に掲載し、観光振興を図る。

【問】 岩下 徳行 議員

簡易臭気測定器購入費38万円が計上されている。測定場所、頻度について伺う。

【答】 住民課長

以前から環境問題が発生している片俣川を中心に月1回程度を想定している。臭気測定値をもとに汚染業者に改善を求めていく。

【問】 白石 巖 議員

御湯船温泉ポンプ入替工事費120万円が計上されているが、その内容を伺う。

【答】 企画振興課長

2021（令和3年5月）産山議会だより

令和3年第2回臨時会

令和3年第2回臨時会が1月26日開催され、予算議案1議案、条例議案1議案の2議案を審議し、全会一致で可決した。

なお、今回の議案については、1月22日に開催された第1回臨時会にて事件撤回された議案の再提出によるもの。

令和2年度一般会計補正予算（第9号）

7,000千円を追加し、総額2,839,472千円

主な補正予算

○ふるさと納税寄附金謝礼 2,800千円

○基金積立 4,200千円

*ふるさと応援寄附金の増額に伴うもの。

ふるさと寄附金条例の一部を改正する条例について

要旨 現条例では、ふるさと寄附金謝礼について、寄附金から支払う事が出来なかつたが、寄附金から支払う事を可能にする条例改正。

令和3年第3回臨時会

令和3年第3回臨時会が2月19日開催され、条例改正議案1議案が審議され、全会一致で可決した。

産山村一般職員の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

要旨 産山村職員の通勤手当を改正するもので、近年の職員人手不足に伴い通勤距離を現条例の最大5km以上を25km以上に拡充し、通勤手当も最大4,200円を15,800円までとするもの。

令和3年第4回臨時会

令和3年第4回臨時会が3月4日開催され、令和2年度産山村一般会計歳入歳出予算（第10号）が審議され、全会一致で可決した。

令和2年度一般会計補正予算（第10号）

88千円を追加し、総額2,839,560千円

主な補正予算

○修学旅行コロナ感染症予防 88千円

要旨 産山学園の修学旅行のコロナ感染症対策として三密をさけるため、対策を講じるもの。

令和3年第6回臨時会

令和3年第6回臨時会が3月29日開催され、予算議案2議案を審議し、全会一致で可決した。

令和2年度一般会計補正予算（第12号）

22,799千円を減額し、総額2,790,585千円

主な補正予算

○各種事業費確定に伴う補正 △22,799千円

要旨 新型コロナウイルス感染症事業の令和2年度事業を確定させ残事業については、新年度として取り組むため、補正するもの。

令和2年度診療所特別会計補正予算（第3号）

30千円を減額し、総額63,232千円



○令和3年2月19日に毎年開催されている子ども議会が行われ村へ質問や要望がされユニークなアイデアが提案されました。

- 1班 空き家活用、コミュニティーバスについて
- 2班 耕作放棄地のクラウドファンディングと新規就農者への補助金増加について
- 3班 自然を活かした観光・特産について
- 4班 商業と観光を発展させるために



一般質問



井 芳美
議員

■花の温泉館について

【議員】花の温泉館については、2016年、熊本地震が起り、2017年正月から丸4年休館しているが、再開するものと考えていた。2年前、田尻地区女性の会47名の中から花の温泉館を再開するため、代表会員15名で真剣に何度も会議をし、現地を見学して話し合つて、花の温泉館を改修していくだくというふうに持つていった。

未来計画にも載せていただいて、地域の老人・婦人会の方々のアンケート調査をして、丸2年間なしのつぶでであった。昨年12月に改修の図面が出きたが、ただ提出しただけで、誰も何も言わず、話合いもなく、村単独と思われる莫大な金額の改修となつていた。

私は初めから言っていたが村内の業者の方々に見てもらい、いかに安く改修するかを検討してほしいという意見をだしたがそれも駄目。

【村長】休館になった折から、その気持ちはあった。

【議員】4年前に休館したとき地下に置いてあるボイラ―が水につかっていた。以前一度つかってボイラ―室を全部新しく変えている。

その後、ライフルラインを止めると、ボイラ―室がどうなるかということは、分かつていたはずである。でも、ライフルラインを止めそのとき、水につかつたボイラ―は使用不能になっていた。

相当に高い金額の機械を入れたが、2年前に私たちが改修したいと言つたときに、そういう事情は分かつていたのか。

【村長】全て細かいことまでは分かつていない。

【議員】ボイラ―室は、地下から2メートル、水につかっている。要するに、電力を止めた時点

運営に人件費がかかるのなら田舎暮らし応援隊の方に運営してもらうとか、観光協会の事務所を花の温泉館に置くなどアイデアを出したが、村長は、本当に改修する気があるのか尋ねる。

【企画振興課長】業者と協議しポンプを停止し、水中にそのままのほうがいいことであつた。

その後、一度、揚湯の試運転を行ひ、水があがるのを確認している。

その後、一度、揚湯の試運転を行ひ、水があがるのを確認している。

その後、一度、揚湯の試運転を行ひ、水があがるのを確認している。ただし、管の中に温泉成分が凝固し、それをポンプが吸い込んで目詰まりを起こすので、その後は揚湯試験を行つていらない。

【議員】今から家族風呂だけでも運営した場合、ポンプは使えるのか。

【企画振興課長】一度、ポンプを上げて中の洗浄をしないと、温泉の成分が固まつてないので、その作業が必要になる。

にし、結局ライフラインが駄目であるから、ポンプについても全く駄目である。

それで、何回ぐらい温泉をくみ上げたか尋ねる。

花の温泉館についてある程度の結論を出さないと、前に進められない。

観光客の多い地区で、建物がそのままになっているのは私自身も心が痛んでいる。今後どうするか協議していきたい。

【議員】今後、休館か、それとも廃館するのか尋ねる。

【村長】廃館ではなくて、利活用について考えていかなければならぬ。業者も外部に募集しているがないため、前に進まなかつたということである。



【議員】ポンプは使えるということがでその点を踏まえて、村長に尋ねる。温泉が上がつても花の温泉館を改修する気はないといふことか。



渡辺裕文
議員

■有機農業関連について

【村長】安心安全な農産物を提供することに異論はないが、農協を含めた民と官一緒に取り組む必要がある。

【議員】農林水産省は「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに有機農業に取り組む面積を全農地の25%を目標にしている。

有機農業を広めるために有効な方法として学校給食に有機農産物を使用したらどうか。まず手始めに米から始めたらどうか。

やってきた。地権者の理解、協力を得て、補償が必要であれば、当然しなければならない。

【経済建設課長】伐採の補償と広葉樹への樹種の転換も森林環境譲与税の事業で検討していきたい。

■冬季の道路の安全確保について

【議員】村内の道路で冬季に日が当たらない急坂・急カーブ等多くて危険である。地権者の同意を得て影になる木を伐採し、その後、落葉樹等を植栽するまできしら手立てはないか。

【住民課長】3月15日まで発行件数
327件、交付率21・2%

■マイナンバーカードについて

【議員】マイナンバーカードの現在までの状況と、保険証として利用、コンビニ等での各種証明書の発行は可能か。



村道隣接樹木密集状況

【議員】産山村での行政手続き等に定める押印廃止の通知があつて、県においても押印廃止の検討が進められている。

【総務課長】国から政令や規定等に定める押印廃止の通知があつて、村は令和3年度中に押印直しの方針を策定し、種類や根拠等を確認・検討していく。

■行政手続きの押印廃止について



保険証の利用は可能、産山村診療所もシステム改修予算を計上している。コンビニ等での証明書発行は今の所できない。

一般質問 *要約しております

■文化財の伝承



井 春夫
議員

【議員】無形文化財は、後継者不足などで継続の危機となつてゐるが、どう対策を講じてゐるか、また産山村の現在の文化財の指定数は何件か尋ねる。

【教育委員会事務局長】有形文化財13、無形文化財2、記念物16（史跡6 天然記念物10）計31を指定している。
伝統文化財保存の観点から重要課題として認識しており地元への聞き取りや地域人材の活用を含め検討中である。

【議員】無形民俗文化財は、きちんと伝承しなければ途絶えてしまう。しっかりと対策を講じてほしい。



嵯峨宮神社獅子舞 平成21年9月撮影

■ゴミ問題

【住民課長】近年普及が伸び悩んでおり、広報などで普及に努め、ゴミの減量化に向け、生ゴミ処理機の導入拡大を図っていきたい。

【議員】ゴミ問題を解決するには一人ひとりがゴミを出さないことや削減することを心掛ける必要があるが、村としてゴミ問題に対しどう取り組んでいくのか。

また、近年海洋プラスチック問題が大きく取り上げられており、大野川最上流部に住む我々も考えなければならない。村・阿蘇広域行政事務組合として真剣に取り組むべきだと考えるが。

【村長】ゴミに対する住民意識を変えるながら、ゴミゼロを大きな目標として、村も担当課や全職員を含めて取り組んでいきたい。

【議員】資源の有効活用、美しいふるさとを守り続けていくため、大野川流域圏を意識した取組を含め、ゴミ問題に対して真剣に検討するよう提言する。



れ始め、その中で環境問題は多く扱われている。
学園のゴミ問題への対応、また行政が出前授業など行いゴミ問題に対応しているか。

【教育長】歓迎遠足で道沿いのゴミ収集、ゴミ分別の先進地水俣市環境センターでの学習や、生徒会が主体となってペットボトルキヤップを集め「世界の子供たちにワクチンを」などの活動を行っている。出前授業は、ゴミ問題を含め環境教育の話を聞いた。

【村長】 コロナ禍の中で支出も事業も抑えながらコロナ対策をやつてきた。令和2年度については、できるだけ財政調整基金の取り崩しを少なくし、国・県補助事業を取り入れ歳出の削減を図りながら進めてきているが、厳しい財政状況は認識している。

その後、予算質疑の中で、財政調整基金2億7百万円の取り崩しや多額の起債借入等による財政不安の意見が相次ぎ21億9千万円に訂正された。しかし、まだまだ見直しの余地はあるのではないか、厳しい財政状況にあるのは間違いないと思われる。現在の財政状況をどのように見ているのか。

【議員】 令和3年度一般会計予算是事件訂正前では24億百万円で前年度対比で10%増となっていました。

■財政について



白石 巖
議員

【議員】 令和3年度予算を見るところ、歳入に当たる村税や国からの各種交付金は前年度に比べ減ってきていている。歳出では、新規事業の取組等財政を圧迫する要因と思われ、非常に懸念される事態であるが何らかの対策はあるのか尋ねる。

【村長】 事業を推進する上で事業費を最小限に抑える努力は総務課長を始め各課で取り組んでいるところである。貯金である財政調整基金の取り崩しは極力減らす手法を来年度予算についてもきめ細やかに行つていきたい。

【議員】 今後災害等が起きれば復旧は優先的に行わなければならぬ。その時のためにも財政調整基金の確保は必要で、安定した財政運営を行うことが重要だ。

財政調整基金(貯金)と地方債(借金)の推移



固定資産評価審査委員の選任について

令和3年3月31日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員について、吉林良則氏、井富幸氏が再任されました。

固定資産評価審査委員の役割とは？

固定資産の課税標準である価格は、固定資産標準に基づき評価されます。

この評価は技術性・専門性が高いという側面を有し、そのため、固定資産税のより一層の適正公平を期し、納税者の評価に対する信頼を確保する趣旨から価格に対する納税者の不服については、村長において処理することとせずに、専門性を有する独立した中立的な機関によって審査決定することとなってます。

この中立的・専門的な第三者機関が固定資産評価審査委員です。

主な議会活動

月 日	内 容	場 所	参加者
1月18日	第1回全員協議会	産山村	議員全員
1月22日	第1回臨時会	産山村	議員全員
1月26日	第2回臨時会	産山村	議員全員
2月19日	第3回臨時会	産山村	議員全員
2月19日	熊本県町村議長会総会	熊本市	議長
2月22日	阿蘇広域行政事務組合 議会運営委員会	阿蘇市	阿蘇広域議会運営 委員
3月4日	第2回全員協議会 第4回臨時会	産山村	議員全員
3月9日～18日	第5回定例会	産山村	議員全員
3月15日	第3回全員協議会	産山村	議員全員
3月18日	社会福祉協議会理事会	産山村	議長・監査員
3月22日	阿蘇広域行政事務組合定例会	阿蘇市	阿蘇広域議会議員
3月23日	熊本県監査委員協議会総会	熊本市	監査委員
3月25日	例月監査	産山村	監査委員
3月29日	第4回全員協議会 第6回臨時会	産山村	議員全員

編集後記



議会広報委員会 広報編集風景

野焼きの後の黒い大地にキスマレが咲き、ワラビも芽を出しあげました。外出自粛等が要請される中、ワラビ狩りは気分転換になるので久しぶりに出かけてみました。
運動にもなり、気分をリフレッシュでき、最高でした。

さて、コロナワクチン接種費用が計上された令和3年度予算が3月定例会で可決されました。

一刻も早くワクチン接種が実施され、元の社会活動に戻れることを願うばかりです。

広報特別委員会 委員長 岩下 徳行 副委員長 井 春夫
委 員 井 芳美 委 員 城本 俊成

村の鳥：ヤマドリ



本村の村の鳥となっている「ヤマドリ」は、山地生息することに由来し、主に標高1500m以下の山地にある森林や藪地に生息し、渓流の周辺にあるスギやヒノキからなる針葉樹林や下生えがシダ植物で繁茂した環境を好む。

発行責任者 議長 西澤 正

編 集 広報特別委員会

發 行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3

☎ 0967-25-2635